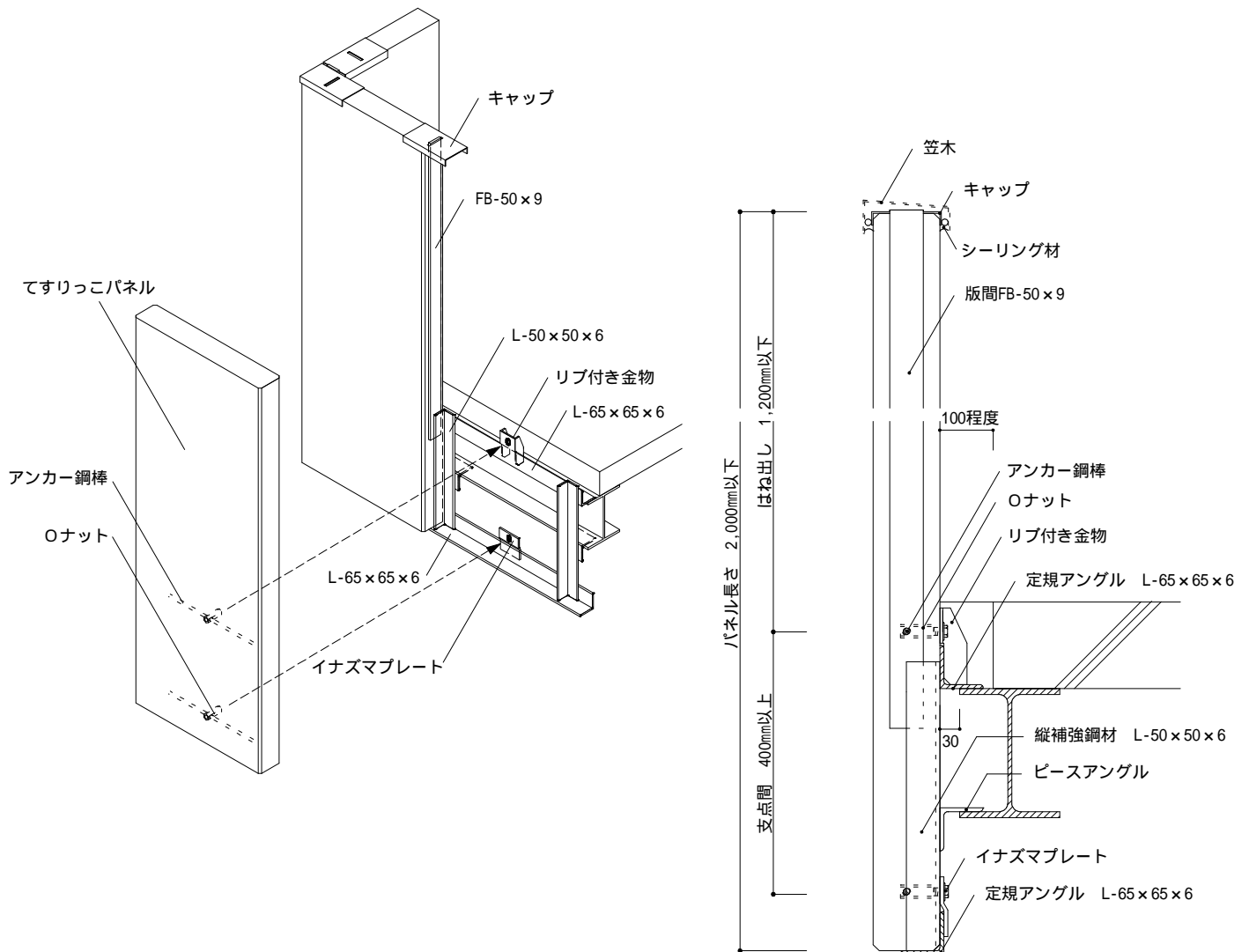


# てすりっこ

## 取付構法の概要



( ) てすりっこ：自立型乾式ALCベランダ壁構法です。

「てすりっこ」の許容荷重は、正の風圧力2,100N/m<sup>2</sup>以下、負の風圧力1,500N/m<sup>2</sup>以下です。

「てすりっこ」の最大はね出し長さは1,200mm以下、取付位置距離（支点間距離）は400mm以上です。

取付け金具はヘーベルテクニカルハンドブックをご参照ください

てすりっこ特記および注（詳しくはヘーベルテクニカルハンドブックをご参照ください）

特1：標準構法図中の色文字は別途工事を示す

注1：ベランダ部の梁と「てすりっこ」パネルとの間には、出入り調整のため、標準で30mm程度のクリアランスが必要

注2：ベランダ床スラブにコンクリートを打設する場合、パネル内面100mm程度で打止める

注3：笠木は、オープン（ノンシール）タイプは使用せず、必ず両面にシーリング材を充てんする。

注4：ベランダの仕切り壁や物干し金具等の取り付けは、パネルに直接取り付けず、躯体から支持する

注5：パネル外側、内側ともに、シーリングおよび防水仕上げが必要。モルタル仕上げは避ける